

令和5年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

学校園名	加古川市立加古川小学校
------	-------------

1 教育目標 健康で豊かな心を持ち、自ら学び続ける子どもの育成

2 基本方針

○よく考える子・・・進んで学び深く考える子(主体性、思考力・判断力・表現力の育成)

○心豊かな子・・・豊かな心を持ち、人を思いやる子(自他の尊厳の尊重)

○たくましい子・・・自らを鍛える健康で明るい子(心身の健康・気力の充実)

○力を合わせる子・・・協調的な態度で人と接することのできる子(共生と協働)

3 指導目標

1. 「確かな学力」を培います 2. 「豊かな心」を育てます 3. 「健やかな体」を養います 4. 「人間関係を築く力」を育てます

5. 地域総がかりの教育を進めます 6. 職員は研修と業務改善に努め豊かな人間性と指導力の向上を図ります

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
「確かな学力」の育成	協同的探究学習を核とした授業改善(ICTとの融合)を推進し、「わかる学力」の育成に努める。	B	・教科書改訂に合わせて、系統カリキュラムの刷新につとめ、ICT研修を適宜実施し、活用力の向上を図る。
「豊かな心」の育成	「道徳」の授業を要にして命を大切にする気持ちや他人を思いやる心を育てる。	B	・道徳の年間指導計画を新たに作成し、系統立てた指導を図る。 ・異学年交流の事前事後指導により自尊感情を高められるように努める。
「健やかな体」の育成	運動への興味関心を高め、体力づくりの日常化(ストレッチ7)を図る。	B	・体育委員会を中心に児童が運動に親しめるような企画を計画する。 ・保健室入室時の保健指導や給食だよりなどの活用による食育指導の充実を図る。
「人間関係を築く力」の育成	「居場所」と「出番」のある学級経営(係・当番活動の工夫)を行い、児童相互のより良い人間関係を育成する。	A	・アセスや心の相談アンケート等を受け、支援会議を充実させ、組織的な支援を行う。 ・いじめの積極的認知を行うとともに、確実な情報共有と引継ぎを図る。
地域総がかりの教育の推進	「中学校区連携ユニット」を充実させるとともに、学校運営協議会の適切な運営を図り、地域とともにある学校づくり(連携意識の向上)を推進する。	B	・学校運営協議会での熟議を通して、目指す学校像を共有する。 ・ユニット間での情報共有や情報交換を通して、取り組みを推進する。
教職員として豊かな人間性と指導力の向上	研修機会(研究と修養)の機会を充実させるとともに、OJTを通して実践的な指導力の向上に努める。	B	・教員同士が積極的に授業参観し、実践的な指導力の向上に努める。 ・基礎部会で授業研究や研修テーマに基づき、実践的な指導力の向上に努める。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
協同的探究学習の推進と、保護者への理解を広めてほしい。 ICT環境は常に進化するため、更新を重ねる必要がある。	B
自分や人を大切にする様子が感じられ、授業や研修での内容から思いやる心が育っている。今後も継続して欲しい。	B
コロナ等で運動する機会が減っている。外遊びしたくなる仕組み作りを図って欲しい。	B
挨拶を大切にする姿勢を身に付けさせたい。 一人一人に合わせた役割を考え、責任感・達成感が得られることで良い人間関係が構築される。今後も継続して欲しい。	B
学校間での情報交換等、密にしていき、学習面でも更なる連携も図る必要がある。 地域が子どもの教育に何ができるか、学校からも積極的に提案して欲しい。	B
今後も子どもの状況に焦点を合わせたり、ICT活用など社会情勢に合わせていたした研修を続けていきたい。	B